

## トレイを用いた堀川ゴボウの育苗技術

農業総合研究所

### 要旨

堀川ゴボウは、苗の植付け後収穫までに根長が10cm程短くなるためブランド規格品(50cm以上)を得るには根長60cm以上の苗が必要であるが、府内の土壤の多くは作土が浅いため必要な長さの苗を得にくい。そこで、長さ70cmの硬質プラスチックトレイを用いてトンネル育苗することにより、府内の土壤条件でもブランド規格品を得るための良苗を得ることができる。

### 成果の概要

本育苗方法では、長さ70cmの硬質プラスチックトレイ〔商品名：クレバーシート(ゴボウ用)〕を、作土内に収まるよう地表面から15°程度の角度に埋め、黒マルチで覆ってから播種し、保温のため透明ポリフィルム(アーケルフィルム)によるトンネル被覆を行う。なお、発芽後徐々にトンネルの換気孔を開けていく作業が必要である(図1)。

亀岡市平坦地の気象条件(年平均気温14℃)では、通常の前年秋播きではなく当年2月下旬に播種することで抽だいを避けることができ、6月下旬には根長60cm以上の苗が得られる(図2、表)。その苗を定植することで、12月上旬にはブランド規格品の堀川ゴボウが収穫できる。

トレイは10年程度の繰り返し利用ができ、育苗コストは、苗の購入費267千円/10aと比較して本技術では経費117千円/10aとなり、育苗にかかる労賃を含めるとコストは同等となる。

本技術の現地導入に向けた技術マニュアルを作成した。

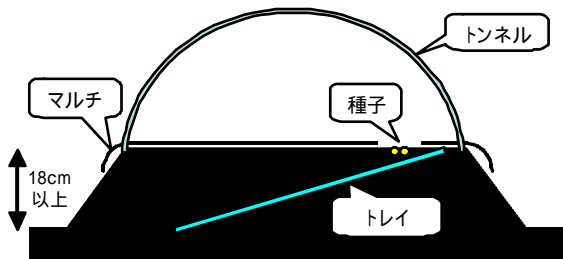


図1 播種時の模式図

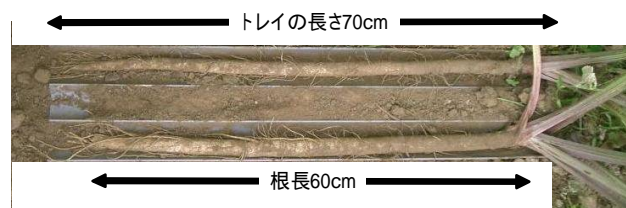


図2 掘り取り時のトレイと苗

表 苗質と収穫物

	苗質			収穫物		
	根重	根長	根径	根重	根長	根径
	g	cm	cm	g	cm	cm
試験区						
トレイ	279	63	2.4	1071	52	5.0
購入苗	152	70	1.8	1013	56	4.6
収穫物のブランド規格				1000~1700	50以上	4~6

注)トレイ区は、2/22に播種し、アーケルフィルムでトンネル被覆(2/22~4/27)を行い、6/22に苗を掘り取って定植し、12/11に収穫した。

購入苗は、根長が約90cmあるため、70cm長に切断した上で、6/5に定植し、11/28に収穫した。

(問合せ先：0772-22-6492)